

# 国際交流 2015

## 『オーストラリア訪問団 1日目:被災地見学バスツアー』

## 2日目:尚絅学院大学合同授業・交流会』

日時:2015年10月30日(木)~31日(金)

場所:宮城県内の被災地(1日目)

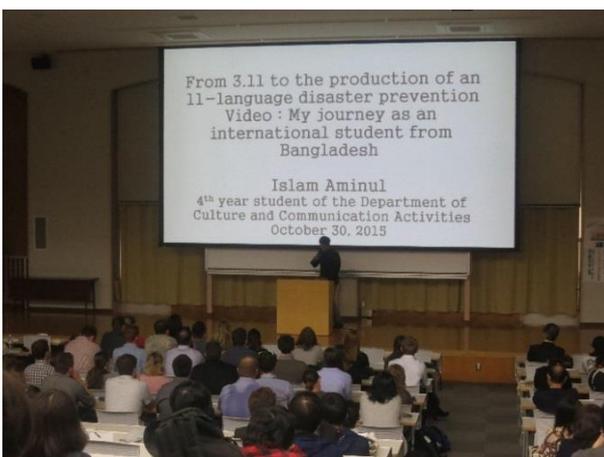
尚絅学院大学(2日目)



10月29~30日に、オーストラリア、ビクトリア州にあるラ・トロブ大学、ロイヤルメルボルン工科大学の両大学より、教員2名及び学生35名が尚絅学院大学を訪問しました。これは、オーストラリアで研修中の本学教員からの紹介によるもので、国際交流推進委員会が受け入れ、1日目(10/29)に宮城県内の被災地(仙台市蒲生、名取市閑上、仮設住宅、岩沼市など)を見学し、2日目(10/30)は本学で本学学生との合同授業や、被災職員より経験談を聞く交流会を実施しました。



1日目、被災地見学の中で美田園第一仮設団地(名取市)を訪れ、住民の方から震災当時の状況や現在の仮設住宅での暮らしについてお聞きしました。オーストラリア・ビクトリア州は、2009年に史上最悪の自然火災を経験しており、学生たちの防災意識は非常に高く、熱心に質問をする場面も見られました。また学生たちから住民の皆さんへの歌のプレゼントもあり、限られた時間ではありましたが言葉の壁を越えた交流を行うことが出来ました。



2日目に大教室で行われた合同授業では、各大学の教員による講義の他に本学学生による被災体験プレゼンテーションが行われ、東日本大震災、スリランカの津波やオーストラリアの自然災害等、多くの視点から自然災害や復興のあり方について学びました。

学生・教職間の交流の場も設けられ、訪問団からは尚絅学院大学の温かいもてなしに感謝の言葉が数多く寄せられました。